

REVENTION No. 256

平成26年1月16日開催

マックとは？

特定非営利活動法人 ジャパンマック・みのわマック 本島 直幸

1. マック (MAC) とは？

マックは Mission Alcohol Center の頭文字をとりマックと読む。

1978年6月、日本で始めて12ステッププログラムを使って依存症者の回復と成長をサポートするアルコール等依存症者リハビリテーションデイケア施設「三ノ輪MAC」として発足した。以来、35年にわたりアルコール等依存症者の回復と支援のための支援活動を続けている。

マックの前身は、1975年4月に故ジョン・ミニー神父（アルコール依存症からの回復者）によって設立された宿泊施設「メリノールレジデンス」（アルコール依存症からの回復施設）でした。宿泊施設は3年後に閉鎖になり、同時期に東京都荒川区東日暮里の一軒家に三ノ輪マック（デイケアセンター）が山谷地区で生活するアルコール依存症者を支援するために開設された。その後大阪、札幌、横浜にも施設が開設され、現在（2014年1月）全国マック協議会加盟施設は17施設になる。

札幌マック（北海道札幌市）、秋田マック（秋田県秋田市）、新潟マック（新潟県長岡市）、さいたまマック（埼玉県さいたま市）、みのわマック（東京都北区）、山谷マック（東京都台東区）、ワン・ステップ（東京都荒川区）、立川マック（東京都立川市）、川崎マック（神奈川県川崎市）、横浜マック（神奈川県横浜市）、寿アルク（神奈川県横浜市）、名古屋マック（愛知県名古屋市）、大阪マック（大阪府大阪市）、京都マック（京都府京都市）、広島マック（広島県広島市）、北九州マック（福岡県北九州市）、ジャパンマック福岡（福岡県福岡市）

2. マックの基本理念

援助機関として、経験と力と希望を分かち合い ソブリエティ（飲まないで生きる）を維持するための知恵や手がかり（回復のプログラム）を提供することにより、利用者が新たな「生きかた」を育むための準備をする。

どんなにひどいアルコール依存症者でも回復に向かえるプログラムがここにある。

経済的、社会的に、そして生き方に問題を抱えて施設を訪れるアルコール依存症者に対し、私たちは生きてきた経験を分かち合い、回復への希望のメッセージを伝え、更に地域社会に向けて希望のメッセージを発信していくことを使命とする。

訪れる者に対し、新たな「生きかた」に向かう手助けを行うために、A.A. 12ステップに基づく回復プログラムを提供し、共に成長していくことを私たちは目指している。

「A.A. との出会い」や「A.A. 12ステップを使って回復の道を歩んでいる人達との出会い」によって得られた「回復への希望」を、私たちは確信をもって、施設を訪れるアルコール依存症者に伝え、彼らが地域の12ステップグループにつながるよう、その橋渡しを行っていく。

これらを実現していくために、私たちは次に示す指針のもとで行動する。

信頼をして

- ・施設を訪れるアルコール依存症者の「人間としての尊厳」を尊重し、回復のプログラムを提供する。
- ・仲間意識が漂う雰囲気の中で、互いのアノミニティを大切にし、安心してくつろげる居場所を提供する。

正直に

- ・提供できるサービスと提供できないサービスを見分け、常に私たちの「無力」な部分を認識しつづける。

- ・機会あるたびごとに見直し（棚卸し）を行い、回復プログラムの提供に必要なことを学びつけていくことによって、私たちの経験に深みを加えていく。

謙虚さをもって

- ・医療・保健・福祉などの専門機関との関係を大切にし、地域のなかで様々な人やグループとの協働を図っていく。
- ・自己中心的な思考に支配されることなく、誰をも（職員相互にあっては互いに）コントロールすることはしない。

伝えつづける

- ・地域社会の私たちの「回復への希望のメッセージ」を伝えていく。

3. 特定非営利活動法人 ジャパンマック事業概要

日本におけるアルコール・薬物依存症者（以下依存症と略）の回復支援において、ソーシャルモデル施設の事業の多面化とその質量の充実は、21世紀における依存症者回復支援対策の根幹をなすものと言える。また、2013年12月にアルコール健康障害対策基本法が制定され、日本におけるアルコール依存症対策についても様々な影響が広がるものと考えられる。また、障害者総合支援法の改正なども今後の施設運営などにも影響があると考えられる。

みのわマックでは1978年の創立当初よりA.A.12ステップに基づき、リカバリングスタッフによる仲間同士の支え合いを大切にしながら、一年365日休みなく依存症者への回復支援を展開している。

三ノ輪マックは、建物の老朽化により1993年5月に東京都北区滝野川に移転、名称をみのわマックに変更した。

1995年からは、男性依存症者のためのナイトケアとして「ミニレジデンス」の開設を皮切りにして、女性のためのナイトケアホーム「ロイス」、女性依存症者のためのデイケアとして「オ'ハナ」、男性依存症者のためのナイトケアとして「バードホーム」、スリークォーターウェイハウス「セカンドハウス」と施設の拡充につとめている。

2002年には従来の任意団体から特定非営利活動法人となった。

2009年4月に板橋区から北区へ女性のデイケア施設「オ'ハナ」を移転し、障害福祉サービス自立訓練（生活訓練）事業所「ウイメンズアディクションサポートセンターオ'ハナ」と改変して開設、法人としては初めての法内施設として認可を受けている。

2011年4月には、「みのわマック」が精神障害者小規模作業所から、障害福祉サービス自立訓練（生活訓練）事業所へ移行した。

2011年10月からは、新しいプログラムとしてアメリカの依存症施設で注目されているリカバリーダイナミクス®を導入し、2013年1月には、板橋区に「RDデイケアセンター」を移転して、障害福祉サービス自立訓練（生活訓練）事業所として運営を始めている。

また、依存症施設のない地域からの要望も受けて、2012年6月に「北九州マック」、2013年10月には「ジャパンマック福岡」を開設している。

「みのわマック」男性の通所施設

「ミニレジデンス」、「セカンドハウス」、「バードホーム」 男性の宿泊施設

「ウイメンズアディクションサポートセンターオ'ハナ」 女性の通所施設

「ウイメンズナイトケアホームロイス」 女性の宿泊施設

「RDデイケアセンター」 リカバリーダイナミクス®認定依存症者回復支援施設

「マック・チャレンジサポート」 依存症者就労支援センター

「マック・ファミリーエイド」 指定特定相談支援事業所

「北九州マック」 通所施設 「クロープハウス」 男性の宿泊施設

「ジャパンマック福岡」 通所施設